

いちき串木野市第3次総合計画 基本構想 (素案)

※写真やイラスト、レイアウトは今後変更になる可能性があります

第1章 未来ビジョン 2040 の概要

- 1 計画策定の趣旨 P 3
- 2 計画策定の位置づけ P 4
- 3 計画の構成 P 5
- 4 計画の期間 P 6
- 5 基本構想の構成 P 7
- 6 基本構想策定のプロセス P 8
- 7 いちき串木野市の概況 P 10
- 8 2040 年に向けて起こる変化 P 12

第2章 ありたい未来

- 1 将来都市像 P 16
- 2 基本目標 P 18
- 3 2040 年の人口フレーム P 26

第1章

未来ビジョン 2040 の 概要

1 計画策定の趣旨

人口減少や少子高齢化など、地域を取り巻く環境が大きく変化する中、本市においても、地域の担い手や産業、暮らしを支える基盤への影響が見込まれます。こうした変化が進む中では、目の前の課題への対応だけではなく、将来を見据えたまちづくりがこれまで以上に重要になります。このため、本計画では、これまでの延長線上で将来を考えるのではなく、2040年のありたい姿を市民とともに描き、その実現に向けたまちづくりの方向性を示します。



2 計画策定の位置づけ

第3次総合計画（未来ビジョン 2040）は、
本市の行政運営の方向性を示す最上位計画です。

市民とともに描いた 2040 年のありたい姿の実現を目指すとともに
総合戦略を兼ねる計画として、地域の魅力を生かしながら、新たな価値を創出し、
持続的に発展するまちづくりを推進します。



3 計画の構成

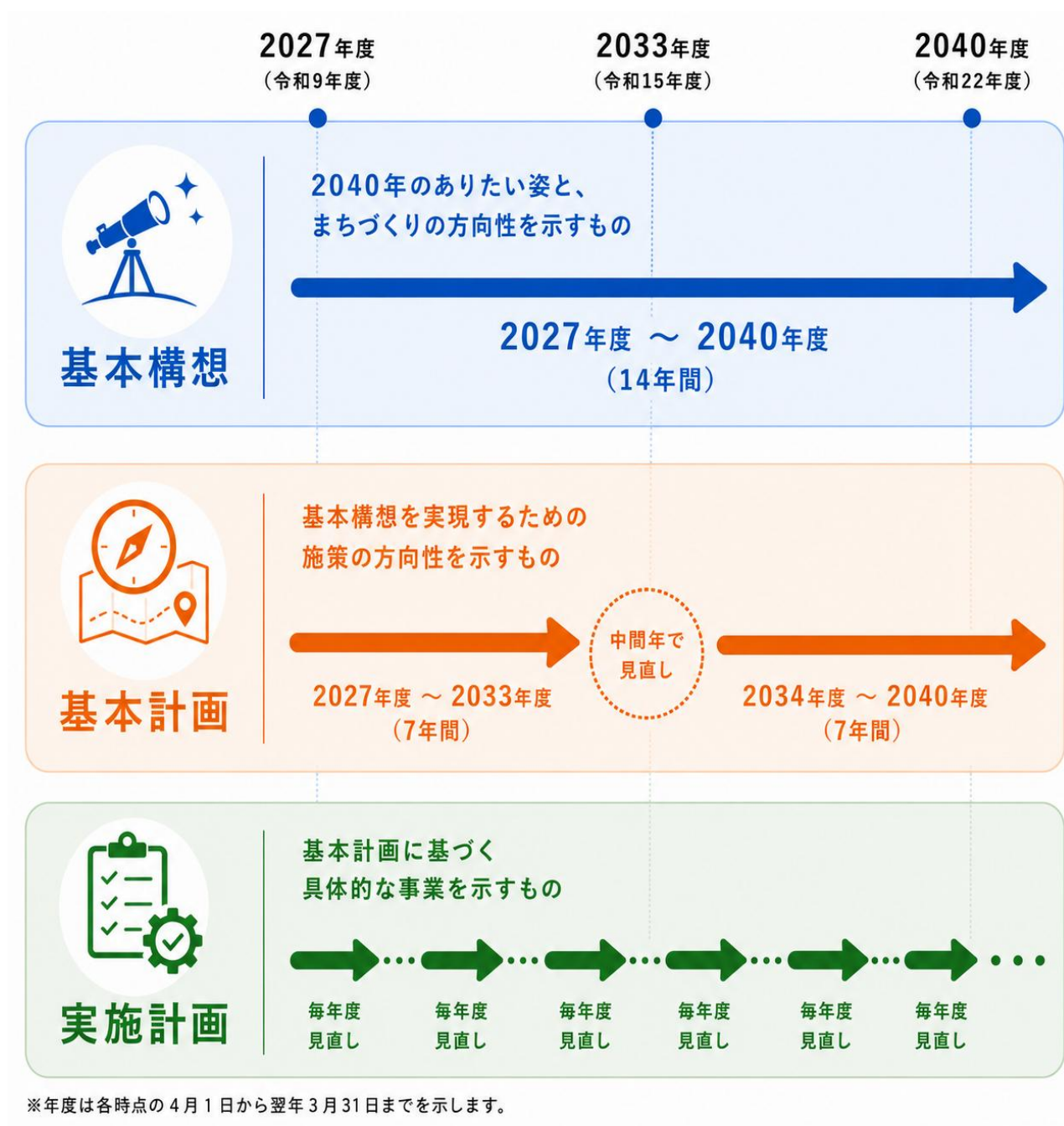
本計画「未来ビジョン 2040」は、2040 年のありたい姿を示す基本構想、
その実現に向けた施策の方向性を示す基本計画、
具体的な事業を実行する実施計画によって構成されます。

基本構想から実施計画までを一体的に運用することで、
未来から現在を見据えたまちづくりを進めていきます。



4 計画の期間

基本構想の期間は、
2027年度（令和9年度）から2040年度（令和22年度）までの14年間とし、
基本計画は前期7年間、後期7年間となります。



5 基本構想の構成

基本構想は、2040 年のありたい姿を描き、
その実現に向けたまちづくりの基本的な考え方を示すものです。
将来都市像と 6 つの基本目標によって構成しています。



将来都市像

2040 年のありたい姿を描き、
まちの未来を示すもの



基本目標

将来都市像を実現するための 6 つのまちづくりの柱

1



交流・挑戦

2



子育て・教育

3



健康・医療福祉

4



伝統・文化・自然

5



産業・しごと・
地域循環

6



防災・インフラ・
エネルギー

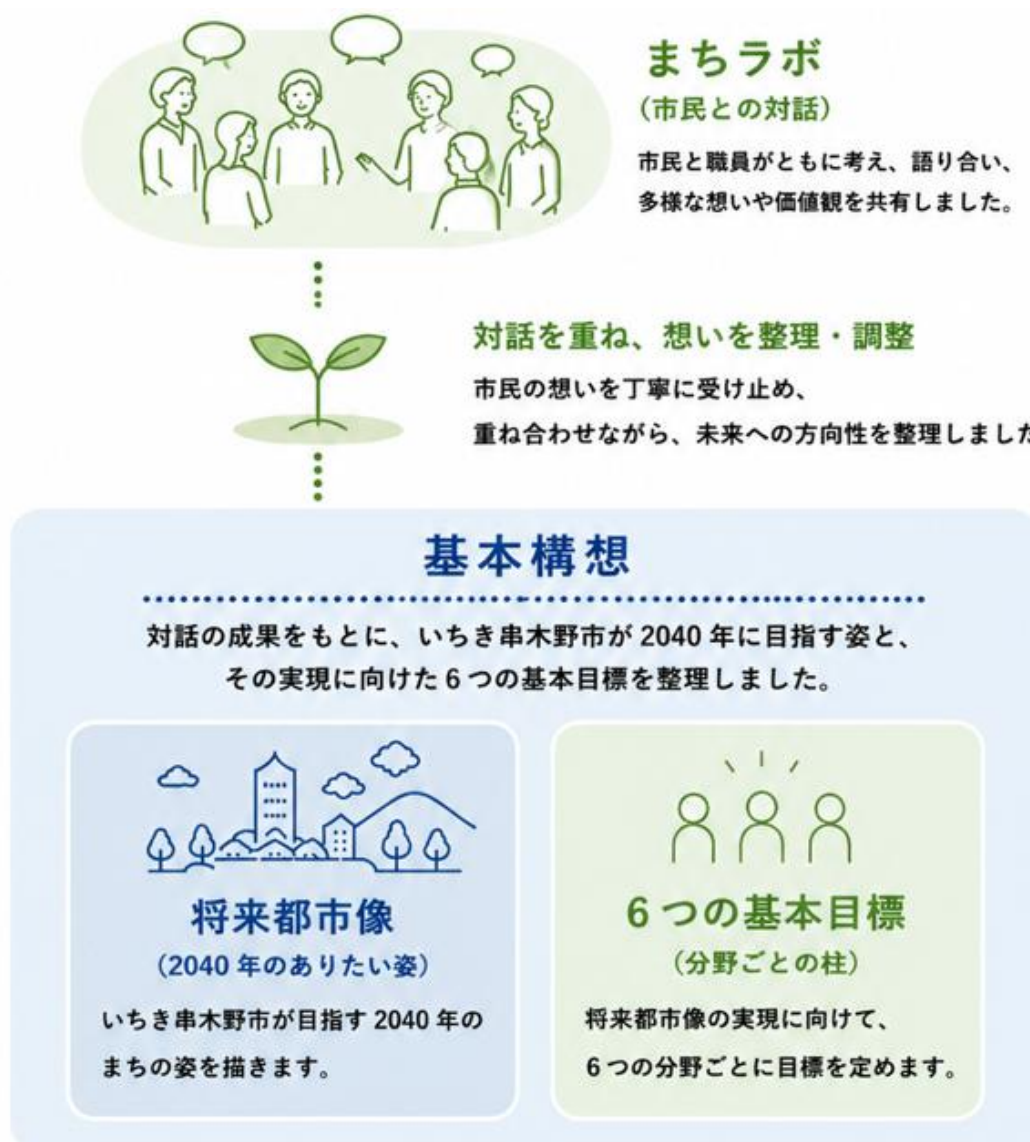
6 基本構想策定のプロセス

基本構想は、市民と職員が共に考え、語り合う「まちラボ」での対話を
出発点としています。

参加者一人ひとりが、このまちの好きなところ、未来に残したいもの、
2040 年に増えていてほしいもの、変わらずにあってほしいものなどを自由に語り合い、
多様な想いや価値観を共有しました。

その中で生まれた想いを丁寧に整理・調整し、本市が 2040 年に目指す姿「将来都市像」
と、その実現に向けて大切にしていきたいことを 6 つの「基本目標」としてまとめ、
基本構想として整理しています。

この基本構想を新たなまちづくりの出発点として、本市に関わる一人ひとりが、それぞれの
立場で未来を育みながら、2040 年のありたい姿の実現を目指していきます。



未来は市民との対話から

～市民×職員ワークショップ「まちラボ」～

2040 年、このまちはどうあってほしいのか。

その問いに一人ひとりが真剣に向き合い、
世代や立場を超えて対話を重ねました。

「好き」「残したい」「挑戦したい」「こうあってほしい」
一つひとつの想いが重なり合い、未来ビジョン 2040 へ
とつながっています。



まちラボの概要



参加者

公募による市民と
若手職員など

26 名が参加



開催回数

令和 7 年 7 月～令和 8 年 2 月 全 7 回開催



聞き取り調査

市内のさまざまな方に

約 300 人へ
聞き取りを実施



考え方・手法

2040 年のありたい姿から
今やるべきことを考える

バックキャスティング
の手法を活用

参加者の声（一部抜粋）

自然や景観を
守っていききたい。



挑戦できる
まちになって
ほしい。



子どもが安心して
育つことが
一番の願いです。



地域で支え合える
まちであって
ほしい。



若い世代が
活躍できる場を
増やしたい。



まちラボから未来ビジョン2040へ



参加者の声

多様な想いや価値観を
出し合いました。



想いの整理・調整

出された想いやアイデアを
丁寧に整理・調整しました。



将来都市像・基本目標

目指す姿と実現に向けた
6つの基本目標をまとめました。



未来ビジョン2040

基本構想

7 いちき串木野市の概況

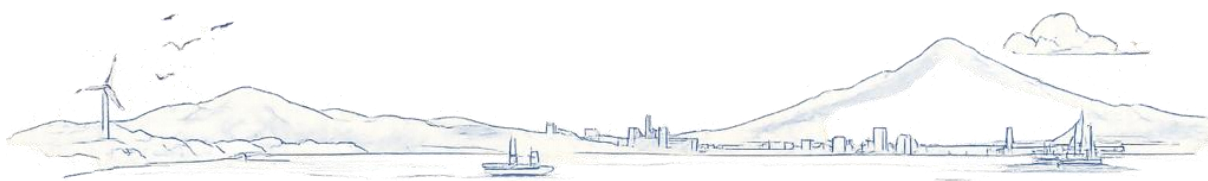
未来へ受け継ぎたい 本市らしさ

「このまちの好きなところ」「未来に残したいもの」として

語られた想いをもとに、本市らしさを象徴する4つの価値としてまとめました。

これらは、私たちが誇りに思う財産であり、

未来へ受け継いでいきたい本市らしさです。



豊かな自然



海・山・川が織りなす豊かな自然。
美しい景観や四季折々の風景は、私たちの
暮らしに潤いとやすらぎを与えてくれます。

歴史と文化



先人たちが築き、受け継がれてきた歴史や文化。
祭りや伝統行事、文化財などが今も暮らしの中に
息づき、本市への愛着を育んでいます。

誇りある産業

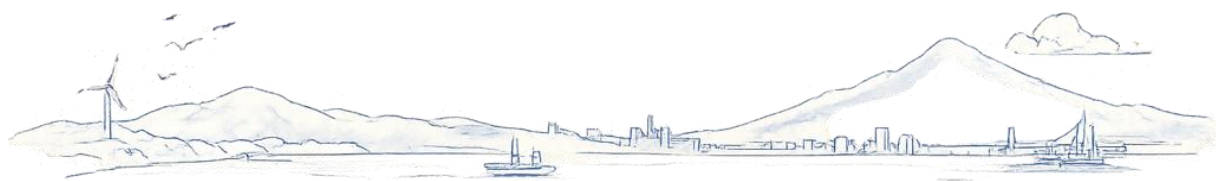


遠洋まぐろ漁業や焼酎づくりをはじめ、
多様な産業が地域を支えています。
受け継がれてきた技術と新たな挑戦が、
本市の活力と誇りを育んでいます。

人の温かさ



人がやさしく、助け合い、支え合う温かさ。
あたたかい人のつながりは、暮らしの安心感や
幸福感を育み、まちの大きな魅力です。



8 2040 年に向けて起こる変化

2040 年に向けて、人口構造や社会経済情勢、技術革新、価値観など、社会はこれまでにないスピードで変化していきます。
こうした変化は全国共通のものですが、本市においても、暮らしや地域のあり方に大きな影響を及ぼすことが想定されます。

01 人口構造の変化 少子高齢化と担い手の減少

出生数の減少や高齢化の進行により、生産年齢人口が減少し、地域や産業、行政サービスを支える担い手の不足が、進むことが想定されます。



02 社会の変化 技術革新と価値観の多様化

AI やDXの進展、働き方やライフスタイルの多様化などにより、社会の仕組みや暮らし方は、これまで以上に大きく変化していくことが想定されます。



03 地域の変化

暮らしを支える仕組みの変化

医療・福祉・公共交通・物流・
公共施設・地域コミュニティなど、
地域で暮らしを支える仕組みは、
担い手不足や維持コストの増加により、
これまでと同じ形で維持することが、
難しくなることが想定されます。



04 環境の変化

気候変動と環境への対応

気候変動の影響による自然災害の
激甚化や脱炭素社会への転換など、
地域を取り巻く環境も大きく変化して
いくことが想定されます



社会が大きく変化する時代だからこそ、
本市らしさを未来へ受け継ぎながら、
市民と描いた 2040 年のありたい姿の実現を目指します。

第2章

ありたい未来

1 将来都市像

人が輝き
想いをつなぎ
未来をつくるまち



一人ひとりが自分らしく輝き、

想いをつなぎ合いながら、

まちの未来をともにつくっていく。

新しい挑戦や支え合いが広がり、

次の世代へ希望をつないでいくまちを目指します。

将来都市像が描く 2040 年の風景

朝、子どもたちが安心して学校や居場所へ向かい、
大人はそれぞれの役割や仕事に向かって動き出している。

まちのあちこちに、出会い、学び、気づきの“きっかけ”が落ちていて、
それが新しい行動につながっていく。

困ったことがあれば「どこに相談すればよいか」を迷う前に、
自然と誰かにつながる。

挑戦したい人には、背中を押す空気感があり、失敗しても、
もう一度立ち上げられる余白がある。

高齢者は、支えられるだけの存在ではなく、経験や想いを次の世代に手渡している。

誰か一人が頑張っているのではなく、支え合いが当たり前になり、
安心と挑戦が同時に存在している。

一人ひとりが、新しい価値や仕事、つながりを生み出し、
まちの未来をかたちづくっていく。

そして多くの人が、特別な理由を挙げなくても、
「このまちで暮らし続けたい」と自然に感じている。

2 基本目標

将来都市像「人が輝き 想いをつなぎ 未来をつくるまち」の実現に向けて、
本市がこれから大切にしていきたい方向性を、6つの基本目標として定めます。
それぞれの目標は、互いに支え合いながら、未来のいちき串木野市をかたちづくりします。

将来都市像を支える6つの基本目標



1

分野 交流・挑戦

出会いや学びのきっかけがまちに広がり、
多様な挑戦が生まれ、互いに応援しあえるまち



市民の想い



優れた発信力で
互いの挑戦を
応援しあえる
まちにしたい



街中にヒントが
あふれていて
ほしい



そのヒントを
きっかけに多様な
挑戦が生まれて
ほしい



学びや気づきが
行動につながる
まちにしたい



応援や共感が
広がる前向きな
まちであって
ほしい



2040 年のありたい姿

まちの中に、出会いや学びのきっかけがあります。

人と人とのつながりの中から、
新しいアイデアや挑戦が生まれ、
互いに応援しあう文化が根づいています。

若い世代も、子育て世代も、シニア世代も、
それぞれの「やってみたい」が尊重され、
チャレンジできる機会があるまちです。

挑戦や活動がまちの元気につながり、
一人ひとりが輝いています。



大切にしたい視点



つながりを大切にする

多様な人との出会いや対話を通じて、
互いを知り、信頼や共感が生まれること
を大切にします。



挑戦を尊重する

一人ひとりの「やってみたい」という
想いを大切にし、挑戦できる
機会やきっかけがあることを
大切にします。



応援しあう文化を育む

挑戦する人を認め合い、支え合い、
互いの可能性を広げていく
前向きな風土を育てていくことを
大切にします。

子どもから大人まで楽しく学び、 安心して子育てできる環境が整い、 誰もが居場所を感じられるまち



市民の想い



学びを楽しめる
まちであって
ほしい



安心して子育て
できる環境で
あってほしい



挑戦を応援しあえる
まちであって
ほしい



誰もが自分の
居場所を感じられる
まちにしたい



次世代へつなげる
環境をつくって
いきたい



2040 年のありたい姿

子どもから大人まで、誰もが学びを楽しみ、
自分らしく挑戦できるまちになっています。

子育ては地域全体で支えられ、
安心して子どもを育てられる環境が整っています。

人と人とのつながりが広がり、
誰もが自分らしく過ごせる居場所が
身近にあるまちになっています。



大切にしたい視点



誰もが学びを楽しむ

年齢や立場を問わず、
学びやスポーツを楽しみながら、
自分の可能性を広げていくことを
大切にします。



安心して子育てできる

子育ての不安がやわらぎ、
地域や社会のつながりの中で、
子どもを育てる喜びを
感じられることを大切にします。



自分らしく過ごせる 居場所がある

一人ひとりの違いが尊重され、
自分らしくいられる居場所が身近にあり、
つながりや支えを感じられることを
大切にします

今と未来を想い、支え合いとつながりの中で、生涯を生き生きと暮らし続けられるまち



市民の想い



今の世代だけでなく
未来の世代も
大切にしたい



支え合いながら
暮らしたい



誰も孤立しない
地域であって
ほしい



高齢になっても
役割や生きがいを
持ちたい



生涯を通じて
健康で暮らしたい



2040年のありたい姿

誰もが役割や生きがいをもち、
心も体も健やかに過ごしています。

医療や福祉の体制が充実し、
安心して暮らせる環境のもと、
困ったときには自然と助け合える関係が
育まれています。

一人ひとりが未来を想い、身近な支え合いから、
優しさや思いやりがまち全体に広がっています。



大切にしたい視点



今と未来を考える

今の世代だけでなく、
未来の世代の暮らしや幸せを見据え、
持続可能なまちの姿を大切にします。



つながりが広がる

地域で支え合い、助け合う関係が
自然と生まれ、孤立せずに
安心して暮らせるつながりが
広がっていることを大切にします。



生涯を生き生きと過ごせる

スポーツや交流を通じて
役割や生きがいをもち、
誰もが心身ともに健康で、
生涯を生き生きと過ごせることを
大切にします。

基本目標

4

分野 伝統・文化・自然

多様な文化と伝統、海と山の豊かな自然が
暮らしの中に息づき、未来へとつながっていくまち



市民の想い



自然や景観を
大切にし、
次の世代へ
つないでいきたい。



海や山の恵みを
大切にしながら
暮らしに
いかしたい。



地域の文化や祭りを
次世代に
伝えたい。



本市らしさを
誇れるまちで
あってほしい。



伝統や文化を
大切に受け継ぎ、
未来へつないでいく
環境であってほしい



2040 年のありたい姿

このまちが歩んできた歴史が語り継がれ、
多様な文化や伝統が、日々の暮らしの中で大切に
受け継がれています。

海や山の恵みが、産業や食、暮らしに活かされ、
豊かな環境が守られています。

歴史や文化・伝統、豊かな自然が地域の誇りや
愛着を育み、まちの魅力として人の心に息づいています。



大切にしたい視点



歴史を語り継ぎ、
文化や伝統を未来へつなぐ

これまで歩んできた歴史を語り継ぎ、
その中で育まれた文化や伝統を次の世
代へつないでいくことで、まちの誇り
や愛着が育まれていくことを大切にし
ます。



豊かな自然を暮らしに活かす

海や山の恵みを産業や食、暮らしに
活かすことで、持続可能な環境が
育まれていくことを大切にします。

基本目標

5

分野 産業・しごと・地域循環

受け継がれてきた産業と、
新たな産業の創出により、経済が循環し、成長していくまち



市民の思い



地域に根付いてきた
産業や技術・資源を
大切にしたい



新しい技術や産業に
挑戦し、
新たな仕事を
生み出したい



伝統産業と
新しい産業が融合し、
新たな価値を
生み出してほしい



地域の中で
人・お金・仕事が
循環してほしい



仲間と一緒に
人も経済も
成長していきたい



2040 年のありたい姿

地域で受け継がれてきた産業が、
新しい技術や発想とつながり、
新たな価値や仕事が生まれています。

多様な人が挑戦し、
地域の中で人・モノ・お金が循環し、
経済が成長しています。

地域の産業が互いに支え合い、
暮らしの豊かさと活力が、
持続的に高まっているまちになっています。



大切にしたい視点



地域で受け継がれてきた
産業を守る

地域に根付いてきた産業や
技術・資源を大切にします。



新しい価値と仕事を
生み出す

先端技術やアイデアと
融合し、新たな価値や
仕事を生み出すことを
大切にします。



地域で循環し、
経済が成長する

地域経済が循環し、
持続的な成長につながることを
大切にします。

基本目標

6

分野 防災・インフラ・エネルギー

暮らしを支えるエネルギーと社会基盤が整い、 誰もが安心して暮らし続けられるまち



市民の想い



いつまでも
このまちで安心して
暮らしたい



地域で生まれた
価値が
地域に還元されて
ほしい



地域の
エネルギーを
地域の豊かさに
つなげたい



災害に備え
命を守りたい



未来の世代にも
安心して
引き継ぎたい



2040 年のありたい姿

地域で生み出された再生可能エネルギーが、
暮らしや産業を支えています。

道路や公共交通、上下水道などの社会基盤が、
適切に維持され、誰もが安心して快適に
暮らすことができます。

災害への備えが日頃から地域に根付き、
いざという時には互いに助け合い、
迅速に行動できる環境が整っています。

子どもから高齢者まで、この地域で安心して
暮らし続けています。



大切にしたい視点



地域資源を活かしたエネルギーを
地域で循環させる

地域で生まれるエネルギーや資源を活用し、
環境にやさしく、地域の豊かさや産業の
持続につながる状態を大切にします。



安全・安心、快適な社会基盤を
整える

道路や公共交通、上下水道などの基盤が
確保・維持され、災害に備えた体制が整い、
命と暮らしを守る状態を大切にします。

2040 年の 人口フレーム

3 2040 年の人口フレーム

人口減少の流れは避けられません。
その現実を受け止めた上で、
小さくても豊かで持続可能なまちづくりを目指します。

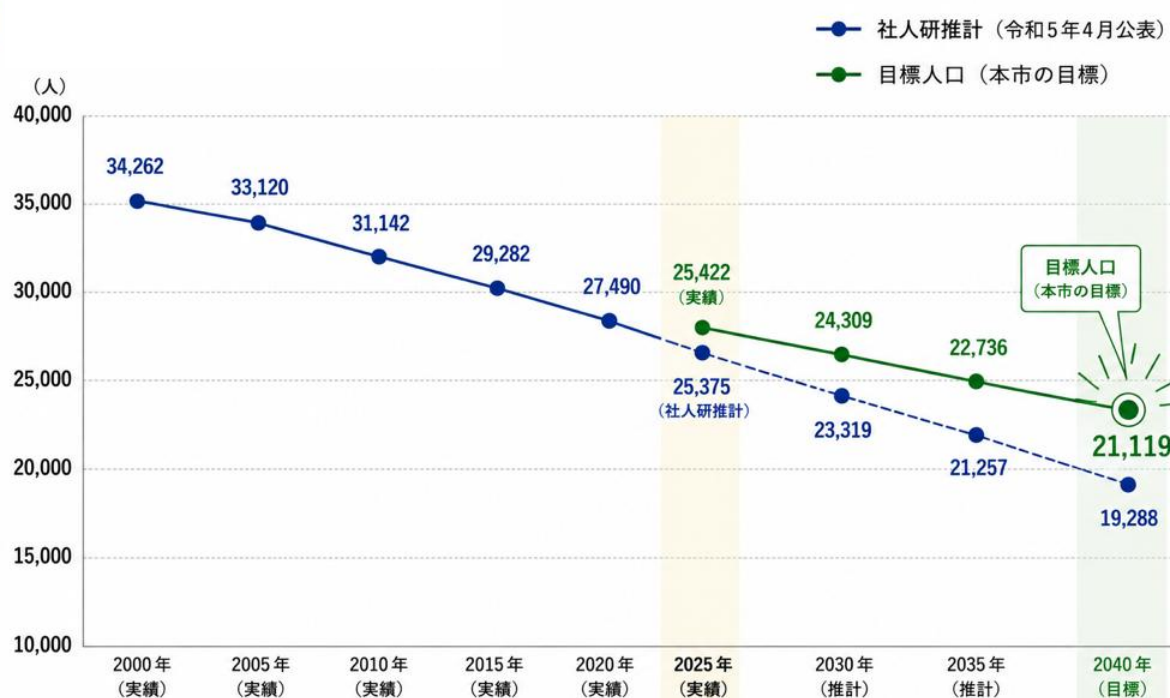
これまでの取組により、2025 年の人口は、当時の
社人研推計を上回って推移しています。

こうした成果を踏まえ、第3次総合計画においても
令和3年に策定した人口ビジョンの目標人口を引き継ぎ、
6つの基本目標に基づくまちづくりを進めることで、
2040 年の目標人口 21,119 人を目指します。

2040 年 目標人口
21,119 人



■人口の将来推計と目標人口



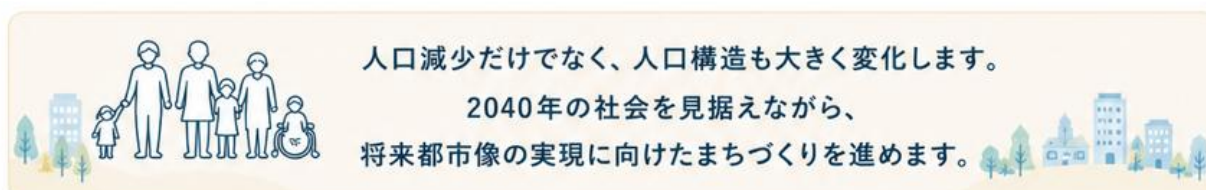
※2000 年～2005 年は、合併前の旧市町人口を現在の市域に組み替えた数値です。

※社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所の推計値（令和5（2023）年推計）を使用しています。

■人口構造（年齢3区分別）の見通し

	2025年（実績）	2040年（独自推計） ※目標人口に社人研推計の割合を乗じた本市の独自推計
 0～14歳 (子ども)	2,593人 (10.2%)	1,900人 (9.0%)
 15～64歳 (働く世代)	12,711人 (50.0%)	9,778人 (46.3%)
 65歳以上 (高齢者)	10,118人 (39.8%)	9,440人 (44.7%)

※2040年（独自推計）は、目標人口21,119人に社人研推計の年齢3区分別割合を乗じた本市の独自推計です。



第2部 基本計画

6つの基本目標



第2部 基本計画へ >>